

児童発達支援事業所における自己評価結果（公）

討議年月日：令和 5 年 8 月 25 日

公表：令和 5 年 9 月 1 日

事業所名 きっずサポートえみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	3	2	5人までは増やして、心にゆとりを持って支援力を高めたい	質の高い支援及びリスク管理と適切な人員配置のバランスを見て体制を見直していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		卵アレルギーの児童もいるため、より丁寧に清掃対策を行う必要がある	清潔な事業所を目指して整理整頓と清掃を意識的に行っていく。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2		毎月の面談で目標設定・振り返りを行っているが、職員によって取り組みへの意識がバラバラなので、個々の職員に浸透できるように働きかけていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	これからだと思います	今年が初めての実施となる。今回の評価表を基に必要な改善を行っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		今後、検討をしていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			外部の研修は全スタッフ必ず受講をしている。内部研修の充実化を図っていく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	子どもの特性に合わせ、使いやすく改良しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		オープンから継続してできている	毎日異なる内容を考えて実施することができており、評判も良いため、引き続き行える体制を作っていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		振り返り及びフィードバックをその日に行うだけの時間を確保することが課題のため、時間を有効に使えるように業務の効率化を図っていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	個々のモニタリングの時間があまりとれていない	業務の配分やスタッフの生産性の向上を図り、業務の効率化を図っていく。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1	今後はスタッフ含めて強化が必要だと思う	医療ケア児の利用が始まったため、保護者・主治医・訪問看護との連携・連絡体制を構築している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		今後はスタッフ含めて強化が必要だと思う	保育園によるが、担任や加配の先生と引き渡しの際に園及び事業所での様子を共有している。より密度の濃い情報共有ができるように働きかけをしていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	学校や児童による。なかなか難しいことも多く検討したい	現在の利用児童のなかで移行支援該当児童はいないが、今後必要になるため、年内に対応方法を精査する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		イベントでの開放日や交流日を検討し、来年度からの実施の準備を行う
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3		自立支援協議会の企画に積極的に参加を始めた。管理職だけでなく現場のスタッフも参加できるようにしていく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2		保護者の意向や希望を踏まえて検討をしていく	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			定期面談や希望面談の機会を増やすとともに、現場スタッフが保護者への助言・支援ができるように、各スタッフの能力・技術の向上を図っていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		今年中に保護者同士の交流会・保護者向けセミナーの企画を行う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	検討していきたい	今後地域向けに事業所開放イベントを進めていく
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	作りたい	各種マニュアルの整備を進めていく

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	予防接種状況は未確認なのですぐに対応すべきでは？	フェイスシートに項目を追加し、子どもたちの状況を把握する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		強いアレルギーを持つ児童がいるため、アレルギーへの対応マニュアルの作成及び研修を実施する
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	共有されているが、作成に関しては知らない	ヒヤリハット及び事故について報告・共有だけでなく事例として作成を進めていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		職員向けに身体拘束や虐待に関する研修を実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		身体拘束に関する指針をもとに保護者向けに説明・配布する機会を設けていく

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 9月 1日

事業所名： きつざサポートすみ

保護者等数（児童数） 8名 回収数 6名 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いい		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
			いい	いい			
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1				事業所の狭さを感じないように様々な工夫をしています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	2			毎月の連絡が遅くなっているときがあり、職員さんの忙しさを感じて心配になります。	スタッフの業務や役割分担の見直しを図っており、無理なく取り掛かれるように致します。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				毎月様々な活動や新鮮味のある活動が多く、興味を持って楽しんでいます	今後も子どもたちが活動を通してたくさんの経験ができるように、様々なプログラムを計画していきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	1	えみでは活動をしていないと思います	ご期待に添えるように事業所内で検討をしていきます。
保護者への 説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				利用開始時の手続きについて手順を記載したチャートがあるとよいとおもいました	契約時の説明について、今まで以上にわかりやすく丁寧な対応ができるように改善致します。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	1	1	面談はしていますが、学ぶというほどではないかなと認識しています	必要に応じて家族支援プログラムを提供できるように体制の見直しを図っていきます。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6					
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6					引き続き、希望面談や定期面談を実施致します。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	2	他の保護者と会う機会がない。他のご家庭ではどうされているか等、聞ける機会があるとよい	保護者様向けの交流会やセミナーを検討しており、今後そのような機会を増やせるようにします。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6					

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5			1	Instagramがとても分かりやすいです。毎月のラインの写真も楽しみにしています	InstagramやLINEのアルバム、HPのブログなど日々の様子をオープンに見ていただけるように、今後も継続して工夫をしています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	2		2	防災訓練はありますが、緊急時にどのような行動・連絡体制になっているか特に認識がありません	防災・安全・感染症に係るマニュアルの周知を進めてまいります。引き続き避難訓練の実施を行っていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2		2	耐震基準を満たしている建物なのか気になっています	耐震を含め、施設の安全衛生に関しては建物の管理会社と連携を取りながら改善を図っていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6				楽しみにしていますが、お母さんがいなくて寂しいといいます	子どもたちにとって「楽しい」、「行きたい」と思ってもらえるような環境・関わりを作っていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6				通所してから目に見えて発達しており大変満足しています	えみが目指す「将来の選択肢を増やす」ためにも、子どもたちの成長に力を入れた療育を継続できるように今後も支援の質の向上を図っていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5 年 8 月 25 日

公表：令和 5 年 9 月 1 日

事業所名 きっずサポートえみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2 職員の配置数は適切である	3	2	送迎の関係で5人体制の整備が必要	送迎のルート・時間を踏まえて必要な人員や体制の整備に取り掛かっていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3	スタッフの意識の改善が必要	毎月の面談で目標設定・振り返りを行っているが、職員によって取り組みへの意識がバラバラなので、個々の職員に浸透できるように働きかけていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		今年が初めての実施となる。今回の評価表を基に必要な改善を行っていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		今年が初めての実施となる。ホームページにて公開を行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		今後、検討をしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			特に内部研修の機会を増やしていく。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	子どもの特性に合わせ、使いやすく改良している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		日々のプログラムは個々の担当制になっているため、チームで立案を行う機会を増やしていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		今後もミーティング・打ち合わせは続けたい	一日の流れ、利用児、活動内容、スタッフの役割を1枚の紙にまとめ配布しているが一日の流れを作成する時間を確保できないことがあるため、ICTツールを使った情報共有を検討していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	翌日行ったり、チャットツールを活用している	振り返り及びフィードバックをその日に行うだけの時間を確保することが課題のため、時間を有効に使えるように業務の効率化を図っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	漏れがないように改善が必要。ICTも検討すべき	ICTの使用に向けて体制及び環境の整備を進めていく。
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	個々のモニタリングの時間があまりとれない	業務の配分やスタッフの生産性の向上を図り、業務の効率化を図っていく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	今後行う予定で現在調整中	医療ケア児の利用が始まったため、保護者・主治医・医療従事者との連携・連絡体制を構築している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	未該当のため	中学生の利用児もいるため、将来に向けて福祉サービス事業所との連携を取れるように現在調整を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		今後検討をしていく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5			自立支援協議会の企画に積極的に参加を始めた。管理職だけでなく現場のスタッフも参加できるようにしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	保護者面談・日頃のライン等を重視している	保護者の意向や希望を踏まえて検討をしていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		今年中に保護者同士の交流会・保護者向けセミナーの企画を行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	検討中	今後地域向けに事業所開放イベントを進めていく	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		各種マニュアルの整備を進めていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			月に1回は避難訓練のプログラムを導入する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		職員向けに身体拘束や虐待に関する研修を実施する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		身体拘束に関する指針をもとに保護者向けに説明・配布する機会を設けていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			強いアレルギーを持つ児童がいるため、アレルギーへの対応マニュアルの作成及び研修を実施する
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	共有されているが、作成に関しては知らない	ヒヤリハット及び事故について報告・共有だけでなく事例として作成を進めていく。	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 9月 1日

事業所名 きっずサポートえみ

保護者等数（児童数）6 回収数 6 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1		1	かなり信頼しています	人員の適正化や様々な専門スタッフによる支援体制を充実できるように見直しを図って行きます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			3	床にじゅうたんが敷かれていてフラットになっています	お子さんの必要に応じて手すり等のバリアフリー化を検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	5	1				
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	6				たくさんの活動や遊びをしてくれています	今後も子どもたちが活動を通してたくさんの経験ができるように、様々なプログラムを計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4		2	曜日によって機会を用意されていると思います	ご期待に添えるように事業所内で検討をしていきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	3				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	1	1		保護者様向けの交流会やセミナーを検討しており、今後そのような機会を増やせるようにします。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		1	現在まで不満・苦情がないためわからないが、常日頃からの対応を見ると信頼できると思います。	苦情を含め、困ったことや気になることは電話やLINEですぐに対応できるようにしていますので、今後も気軽にご連絡ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	2			連絡帳だけでなく、送迎時に顔を合わせたときにも伝えてくださいます	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1			インスタグラムで様子がとてもよくわかります	インスタグラムやLINEのアルバム、HPのブログなど日々の様子をオープンに見ていただけるように工夫をしています。
14 個人情報に十分注意しているか	6						
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	4				防災・安全・感染症に係るマニュアルの周知を進めてまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			大変楽しみにしています。楽しく通えるように工夫してくれています	子どもたちにとって「楽しい」、「行きたい」と思ってもらえるような環境・関わりを作っていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	6					